

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	05 労働費	項	02 労働諸費	目	01 労働諸費		
事業名	労働貸付金・預託金		担当課	商工文化課		予算書頁	P120	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
95,000千円		95,000千円		0千円		0.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		95,000千円		0千円		

【事業の目的】

勤労者の生活安定に資するための融資等の資金として、北陸労働金庫へ預託し、勤労者への融資等の資金とすることにより勤労者の生活安定を図る。

【事業の概要】

○貸付金 95,000千円

[財源内訳]

○勤労者生活安定資金預託金戻入 45,000千円
○労働金庫預託金戻入 50,000千円

[主な内容]

①勤労者生活安定資金預託金
勤労者の生活安定に資するための融資等の資金として無利子で預託する。

利用実績 (千円)

勤労者生活安定資金	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
件数	2	6	8	9	-
金額	1,530	6,180	7,400	15,200	-

②北陸労働金庫預託金
市内の勤労者の厚生福祉増進を目的とする融資の資金として預託する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	01 農業委員会費		
事業名	農業委員会費		担当課	農委事務局		予算書頁	P121	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
9,582千円		9,397千円		185千円		2.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
6,876千円		0千円		150千円		2,556千円		

【事業の目的】

農業生産力の向上及び農業経営の合理化等による農業者の地位向上に寄与するため設置される、農業委員会の運営を行う。

【事業の概要】

○報酬 7,713千円 ○共済費 145千円
○報償費 9千円 ○旅費 273千円
○消耗品費 191千円 ○印刷製本費 50千円
○通信運搬費 358千円 ○使用料及び賃借料 114千円
○負担金 729千円

[財源内訳]

○農業委員会補助金 2,136千円
○農地利用最適化交付金 4,740千円
○農業者年金業務受託金 150千円

[主な内容]

- ①毎月の定例会の運営
 - ・毎月の定例農業委員会において、農地の売買、賃借、転用等を審議する。
- ②農地利用の最適化活動への支弁
 - ・農業委員・農地利用最適化推進委員の、担い手への農地集積／遊休農地の発生防止／新規参入の促進、等の活動に対し報酬を支払う。
 - ・農業委員 12名 ・農地利用最適化推進委員 10名
- ②農業者年金の加入推進
 - ・60歳未満の農業者に対し、訪問による加入促進の案内を実施する。

農業者年金加入者数 (人)

R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
0	0	1	1	-

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	01 農業委員会費		
事業名	機構集積支援事業費		担当課	農委事務局		予算書頁	P122	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
339千円	668千円		△ 329千円		△ 49.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
339千円		0千円		0千円		0千円		
【事業の目的】 農地の利用状況調査（農地パトロール）を行い、不耕作地について所有者へ利用意向調査を行う。また、農業委員の資質向上のための研修に参加する。								
【事業の概要】 ○旅費 28千円 ○消耗品費 195千円 ○通信運搬費 116千円								
[財源内訳] ○機構集積支援事業費補助金 339千円								
[主な内容] ①利用状況調査 ・農地パトロールを実施し、農地の利用状況を調査する。 ②利用意向調査 ・農地パトロールにて認められた不耕作地について、今後の意向を調査する。 ③委員の資質向上のための活動 ・北信越ブロックにて開催される委員研修に参加する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	01 農業委員会費		
事業名	担い手農地集積促進事業費		担当課	農委事務局		予算書頁	P122	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
106千円	225千円		△ 119千円		△ 52.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		106千円		
【事業の目的】 勝山農業振興地域外の農地を農地中間管理機構へ利用権の設定を促すとともに、担い手への支援及び勝山市農業振興地域の区域外の農地集積を促進する。								
【事業の概要】 ○補助金 106千円								
[財源内訳] ○-								
[主な内容] ①担い手農地集積促進事業補助金 農地中間管理機構へ利用権設定した場合に、担い手へ補助金を交付する。 ・事業対象年度 : 令和3年度～令和8年度 ・補助対象 : 勝山農業振興地域外の農地 ・貸付始期 : 令和3年1月1日～令和8年3月31日 ・補助額 : 5円/㎡ (1,000円未満切捨) ・中間管理機構へ利用権設定 (対象農地1回限り)								
借り手人数に応じて、勝山市農業公社に事務費として補助金を交付する。 ・事務補助金 : 借受人1人につき1,000円								
受け手への補助金 (㎡)								
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)			
対象面積	5,885	40,228	18,066	69,469	20,382			

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	03 農業振興費
事業名	農地活用支援事業費			担当課	農林課		予算書頁 P122
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
14,600千円		15,800千円		△ 1,200千円		△ 7.6%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		14,600千円	

【事業の目的】

集団転作の推進と特産物の生産振興及び農作業の省力化により、農業経営の安定と農業所得の向上を図る。

【事業の概要】

○補助金 14,600千円

[財源内訳]

○-

[主な内容]

①水田利用ミニ団地化促進事業
水田の地縁的なつながりによる団地化を促進するため、1ha以上の転作団地に対し補助金を交付する。
交付要件 1ha以上の転作団地 交付単価 3,600円以内/10a
R7年度予算 交付金額：7,500千円

実績 (ha)					
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
団地化面積	246.5	252.1	254.0	256.9	256.9

②園芸作物等生産支援事業
園芸作物等の栽培に取り組む生産者の機械の導入を支援するため、補助金を交付する。
R7年度予算 交付金額：2,000千円

実績 (件)					
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
件数	5	7	4	7	8

【次頁へ】

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	03 農業振興費
事業名	農地活用支援事業費			担当課	農林課		予算書頁 P122
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
14,600千円		15,800千円		△ 1,200千円		△ 7.6%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		14,600千円	

【前頁より】

③園芸作物等出荷販売奨励事業
エゴマの栽培に取り組む生産者のエゴマの作付面積に対し補助金を交付する。
R7年度予算 交付金額：500千円

実績 (a)					
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
面積	330	364	328	500	500

④生分解性マルチ普及推進事業
里芋栽培に必要な生分解性マルチの購入に対し補助金を交付する。(生分解性マルチと黒マルチの差額)
R7年度予算 交付金額：600千円

実績 (件、円)					
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
申請者数		21	9	7	-
申請本数		191	106	131	157
1本あたりの助成額		1,800	3,800	3,800	3,800

⑤畦畔用防草シート普及推進事業 【拡充】 [4,000千円]
草刈りにかかる労力と経費を削減するため、畦畔の防草を目的に設置する防草シートの購入に対し補助金を交付する。認定農業者等については、補助金上限額を拡充する。(農地面積により補助金上限額有)
R7年度予算 交付金額：4,000千円

申請件数 (件)							
農地合計面積	補助上限額(1000円)	補助上限額(3000円)	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
0~2.5反未満	21,200	63,600			3	3	21
2.5~5反未満	42,400	127,200			2	3	10
5~7.5反未満	63,600	190,800			5	3	8
7.5~10反未満	84,800	254,400			1	2	5
10反以上	100,000	300,000			17	5	14
合計					28	18	68

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	03 農業振興費
事業名	農業振興諸経費			担当課	農林課		予算書頁 P122
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
57,782千円		97,274千円		△ 39,492千円		△ 40.6%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
29,345千円		0千円		0千円		28,437千円	

【事業の目的】

地域の農業振興に係る各種経費の支出、各種団体、協議会等への支援を行う。

【事業の概要】

○報償費 5千円 ○旅費 47千円
○負担金 583千円 ○補助金 57,147千円

[財源内訳]

○福井百歳やさい支援事業補助金 350千円
○水田農業構造改革対策推進事業補助金 7,565千円
○農山漁村地域整備事業交付金 21,430千円

[主な内容]

- ①奥越農業振興協議会負担金
地域農業の振興及び農家生活の向上等、生産と生活の調和ある農村を形成するため、農業改良普及事業等の費用の一部を負担する。
- ②福井そばルネッサンス推進事業負担金
福井そばルネッサンス推進実行委員会を通じて、そば文化・伝統の復興、継承及び活性化を図るための費用の一部を負担する。
- ③米保冷库等整備事業補助金 【新規】 [4,500千円]
勝山市産米の保管、出荷、販売等に必要な設備、資材等の購入経費に対し補助金を交付する。
R7年度予算 交付金額：4,500千円

実績		(件)				
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
件数				5	24	

- ④農業農村活性化事業補助金
ふるさと活性化推進事業（勝山の食文化の伝承と地産地消の実践を図る。）、農作業受託推進事業（認定農業者等が中心の受託組織活動の拡大と地域農業の発展を図る。）、担い手活性化事業（認定農業者の会員相互の連携を深め、地域農業の振興と育成を図る。）農村文化体験事業（里芋掘り体験事業、食体験）
R7年度予算 交付金額：255千円

【次頁へ】

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	03 農業振興費
事業名	農業振興諸経費			担当課	農林課		予算書頁 P123
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
57,782千円		97,274千円		△ 39,492千円		△ 40.6%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
29,345千円		0千円		0千円		28,437千円	

【前頁より】

- ⑤福井百歳やさい支援事業補助金
伝統野菜である勝山水菜及び妙金ナスの維持拡大を図るために要する経費に対し補助金を交付する。
R7年度予算 交付金額：350千円
- ⑥青果市場建設事業補助金
道の駅隣接地の市場施設・飲食物販施設の整備に補助金を交付する。
R7年度予算 交付金額：32,145千円
- ⑦農業公社運営費補助金
農業公社に対する運営補助金を交付する。
R7年度予算 交付金額：12,332千円
- ⑧水田農業構造改革対策推進事業補助金
市再生協議会に対し補助金を交付する。
R7年度予算 交付金額：7,565千円

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費		
事業名	中山間地域等支援事業費			担当課	農林課		予算書頁	P123
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
90,723千円	91,565千円		△ 842千円		△ 0.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
69,219千円		0千円		0千円		21,504千円		

【事業の目的】

中山間地域等において、農業生産活動の維持を図り多面的機能を確保する。集落等が農用地を適切に維持・管理していくための協定を締結し、集落等の継続的な農業生産活動を支援する。

【事業の概要】

○職員手当等 208千円 ○消耗品費 26千円
 ○燃料費 37千円 ○通信運搬費 13千円
 ○補助金 90,439千円

[財源内訳]

○中山間総合対策支援事業補助金 3,976千円
 ○中山間地域等直接支払事業交付金 64,359千円
 ○中山間地域等直接支払推進事業補助金 284千円
 ○中山間地域土地改良施設等保全基金事業補助金 600千円

[主な内容]

①中山間地域等直接支払事業交付金
 農業生産条件の不利な傾斜の多い農地において集落等を単位で農業生産活動等を行う場合に、各集落毎の活動面積に応じて補助金を交付する。
 R7年度予算 交付集落：34集落 交付金額：85,813千円

実績		(ha)				
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
取組面積	597	598	597	596	596	

②中山間地域土地改良施設等保全基金事業補助金
 特に急傾斜な農地を抱える集落等において、中山間直払を実施している団体が行う営農活動に使用する材料購入に対して1団体あたり定額300,000円の補助金を交付する。
 R7年度予算 交付集落：2集落 交付金額：600千円

実績		(地区)				
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
地区	2	1	2	2	2	

【次頁へ】

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費		
事業名	中山間地域等支援事業費			担当課	農林課		予算書頁	P123
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
90,723千円	91,565千円		△ 842千円		△ 0.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
69,219千円		0千円		0千円		21,504千円		

【前頁より】

③中山間総合対策支援事業補助金
 農作業をサポートする人材による小区画農地での耕起、田植、収穫等の農作業について支援を実施する。
 サポートセンター活動支援事業 交付金額 100千円
 農作業受委託促進事業 交付金額 3,926千円

実績		(千円)				
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
活動支援	100	100	100	100	100	
受委託促進	2,874	3,843	3,926	3,906	3,926	

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	03 農業振興費
事業名	新規就農者支援事業費		担当課	農林課		予算書頁	P123
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
3,618千円	3,000千円		618千円		20.6%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
2,559千円		0千円		0千円		1,059千円	
<p>【事業の目的】 就農初期の生産基盤の不安定な新規就農者の経営安定化を支援する。</p> <p>【事業の概要】 ○補助金 3,618千円</p> <p>[財源内訳] ○新規就農者経営支援事業補助金 2,559千円</p> <p>[主な内容] ①新規就農者経営支援事業補助金(経営開始資金) 新たに経営を開始する次世代を担う新規就農者(経営開始時49歳以下)に対し、就農直後の経営を確立するため資金を助成する。最長3年間。 月額125,000円×12ヵ月(R7年4月～R8年3月) 継続1名 R7年度予算 交付金額:1,500千円</p> ②新規就農者経営支援事業補助金(就農奨励金) 【新規】 [1,800千円(県900千円)] 新たに経営を開始する次世代を担う新規就農者(経営開始時50歳以上60歳未満)に対し、就農直後の経営を確立するため資金を助成する。 月額150,000円×12ヵ月(R7年4月～R8年3月) 新規1名 ※1年目:月額150,000円、2年目:月額100,000円、3年目:月額50,000円 R7年度予算 交付金額:1,800千円 ③新規就農者住宅確保支援事業補助金 【新規】 [318千円(県159千円)] 県外からの新規就農者の住宅の確保を図るため、認定新規就農者に対し、経営開始後の家賃の一部を助成する。 月額26,500円×12ヵ月(R7年4月～R8年3月) 新規1名 R7年度予算 交付金額:318千円							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	03 農業振興費
事業名	米需給調整円滑推進事業費		担当課	農林課		予算書頁	P124
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
462千円	448千円		14千円		3.1%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
462千円		0千円		0千円		0千円	
<p>【事業の目的】 米の需給調整に伴う生産数量目標の設定や現地転作確認を実施する。</p> <p>【事業の概要】 ○消耗品費 64千円 ○燃料費 70千円 ○修繕料 50千円 ○通信運搬費 73千円 ○委託料 205千円</p> <p>[財源内訳] ○米需給調整円滑推進事業補助金 462千円</p> <p>[主な内容] ①電算処理委託料 市に対する国からの事務費であり、水田情報一体化に伴う水田情報入力業務及び一体化帳票出力業務委託を継続して実施する。</p>							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	03 農業振興費
事業名	農業機械・施設整備支援事業費		担当課	農林課		予算書頁	P124
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
49,873千円		21,544千円		28,329千円		131.5%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
41,915千円		0千円		0千円		7,958千円	

【事業の目的】

水田農業の継続的な経営発展に向けて収益性の高い農業の転換を図るため、営農の広域化や規模拡大、園芸導入を目指す集落営農組織等を支援する。また、中山間地域の多様な担い手の育成及び中山間の営農を継続させる体制づくりを支援する。

【事業の概要】

○補助金 49,873千円

【財源内訳】

- 未来に繋ぐふくいの農業応援事業補助金 8,375千円
- 新規就農者経営支援事業補助金 2,287千円
- 中山間総合対策支援事業補助金 30,453千円
- 意欲あるふくいの畜産支援事業補助金 800千円

【主な内容】

①未来に繋ぐふくいの農業応援事業 【新規】 [8,375千円(県8,375千円)]
補助率 県1/2以内

年度	R3	R4	R5	R6	R7(予算)
件数(件)					1
金額(千円)					8,375

②新規就農者経営支援補助金(小農具等整備奨励金) 【新規】 [500千円(県250千円)]
補助率 県1/4以内 市1/4以内

年度	R3	R4	R5	R6	R7(予算)
件数(件)					1
金額(千円)					500

③新規就農者経営支援補助金(経営発展支援)
補助率 国1/2以内、県1/4以内

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
件数(件)		3	1	0	1
金額(千円)		16,218	7,299	0	2,037

【次頁へ】

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	03 農業振興費
事業名	農業機械・施設整備支援事業費		担当課	農林課		予算書頁	P124
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
49,873千円		21,544千円		28,329千円		131.5%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
41,915千円		0千円		0千円		7,958千円	

【前頁より】

④中山間総合対策支援事業(担い手支援対策事業)
補助率 県1/3以内 市1/6以内

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
件数(件)	1	3	4	4	3
金額(千円)	3,225	15,676	18,840	14,212	21,926

⑤中山間総合対策支援事業(営農省力化支援事業)
補助率 県1/2以内

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
件数(件)	1	3	2	2	4
金額(千円)	1,141	3,861	2,334	6,089	15,835

⑥意欲あるふくいの畜産支援事業 【新規】 [1,200千円(県800千円)]
補助率 県1/3以内 市1/6以内

年度	R3	R4	R5	R6	R7(予算)
件数(件)					1
金額(千円)					1,200

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	03 農業振興費
事業名	環境保全型農業支援事業費		担当課	農林課		予算書頁	P124
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
3,194千円	3,641千円		△ 447千円		△ 12.3%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
2,445千円		0千円		0千円		749千円	

【事業の目的】

自然環境の保全に資する農業生産活動の推進を図る。

【事業の概要】

- 消耗品費 139千円
- 燃料費 33千円
- 通信運搬費 28千円
- 補助金 2,994千円

[財源内訳]

- 環境保全型農業支援事業補助金 2,245千円
- 環境保全型農業支援推進事業補助金 200千円

[主な内容]

①環境保全型農業支援事業補助金
 県が認定するエコファーマーが、化学肥料と農薬を慣行基準より5割以上低減し、かつ、緑肥作物の作付等による地球温暖化防止や、有機農業等での生物多様性保全に取り組んだことに対して補助金を交付する。

補助件数及び金額の推移

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
件数(件)	9	8	9	9	10
金額(千円)	3,581	2,816	3,114	3,395	2,994

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	03 農業振興費
事業名	地域農業確立支援事業費		担当課	農林課		予算書頁	P124
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
1,415千円	2,276千円		△ 861千円		△ 37.8%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
1,415千円		0千円		0千円		0千円	

【事業の目的】

策定された「地域計画(人・農地プラン)」を継続的に更新し、農地の集積や新規就農・経営継承、農業法人・集落営農の支援を行う。また、担い手への農地集積と集約化により農業の体質強化を図る。

【事業の概要】

- 職員手当等 45千円
- 通信運搬費 13千円
- 消耗品費 29千円
- 補助金 1,328千円

[財源内訳]

- 地域農業確立支援事業補助金 1,415千円

[主な内容]

①機構集積協力金
 担い手への農地の集積、集約を推し進める。
 集約要件を満たした地区に対し、地域農業確立支援事業補助金を交付する。

集約を達成した地区への補助金 (地区、円)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
地域集積協力金					
対象地	12	16	12	0	1
交付額	6,455,800	9,769,400	4,518,400	0	1,328,000
経営転換協力金					
対象地	4	8	3		
交付額	183,000	803,000	367,000		

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費		
事業名	畜産振興諸経費			担当課	農林課		予算書頁	P125
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
20千円		20千円		0千円		0.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		20千円		
<p>【事業の目的】 市内畜産農家の基盤を強化し生産拡大を目指すため、各種支援を行い畜産業の振興を図る。</p> <p>【事業の概要】 ○補助金 20千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な内容] ①家畜自衛防疫推進協議会補助金 家畜自衛防疫推進協議会が実施する家畜伝染病予防対策事業の経費の一部に対し補助金を交付する。</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年																			
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費																				
事業名	大用水・農道水路等維持管理費			担当課	農林課		予算書頁	P125																		
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)																				
11,633千円		11,483千円		150千円		1.3%																				
予算額の財源内訳																										
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)																				
0千円		5,500千円		0千円		6,133千円																				
<p>【事業の目的】 勝山大用水及び農道・水路の適正な維持管理を行い、安定的な水の供給及び洪水被害の軽減や地域用水として農村の景観を形成し、生態系の保全を図る。</p> <p>【事業の概要】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>○給料</td><td style="text-align: right;">165千円</td></tr> <tr><td>○報償費</td><td style="text-align: right;">70千円</td></tr> <tr><td>○光熱水費</td><td style="text-align: right;">238千円</td></tr> <tr><td>○保険料</td><td style="text-align: right;">42千円</td></tr> <tr><td>○委託料</td><td style="text-align: right;">656千円</td></tr> <tr><td>○使用料及び賃借料</td><td style="text-align: right;">3,942千円</td></tr> <tr><td>○改修工事費</td><td style="text-align: right;">6,000千円</td></tr> <tr><td>○補修用資材代</td><td style="text-align: right;">300千円</td></tr> <tr><td>○負担金</td><td style="text-align: right;">220千円</td></tr> </table> <p>[財源内訳] ○公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業） 5,500千円</p> <p>[主な内容] ①土地・敷地賃借料 新旧勝山大用水敷地に対する賃借料を支払う。</p> <p>②補修用資材代、機械重機等借上げ料 水路・農道等の補修に係る原材料の支給、機械借上げ費の補助を行う。</p> <p>③改修工事 個別施設計画に基づき、計画的に新旧勝山大用水の改修工事を行う。</p>									○給料	165千円	○報償費	70千円	○光熱水費	238千円	○保険料	42千円	○委託料	656千円	○使用料及び賃借料	3,942千円	○改修工事費	6,000千円	○補修用資材代	300千円	○負担金	220千円
○給料	165千円																									
○報償費	70千円																									
○光熱水費	238千円																									
○保険料	42千円																									
○委託料	656千円																									
○使用料及び賃借料	3,942千円																									
○改修工事費	6,000千円																									
○補修用資材代	300千円																									
○負担金	220千円																									

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	05 農地費
事業名	農地多面的機能支払事業費		担当課	農林課		予算書頁	P126
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
132,595千円		131,606千円		989千円		0.8%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
99,596千円		0千円		0千円		32,999千円	

【事業の目的】

農業施設（用排水路等）を地域ぐるみで保全管理する活動組織（集落）を支援する。

【事業の概要】

- 職員手当等 300千円
- 消耗品費 200千円
- 燃料費 35千円
- 通信運搬費 65千円
- 補助金 131,995千円

[財源内訳]

- 多面的機能支払事業交付金 98,996千円
- 多面的機能支払事業補助金 600千円

[主な内容]

①多面的機能支払補助金

多面的機能の維持の観点から必要と認める農用地を対象に、農地法面の草刈、水路の泥上げ等の保全活動、水路、ため池の軽微な補修や植栽による景観形成、施設の長寿命化のための活動に対し助成を実施する。

R7年度予算 交付組織：広域（58組織）＋単独（3組織）
 交付金額：131,995千円

実績		(地区、ha)				
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
取組面積	1,524	1,525	1,510	1,514	1,514	
取組地区(広域)	56	56	57	58	58	
取組地区(単独)	5	5	4	3	3	

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	06 土地改良費
事業名	土地改良(県単)事業費		担当課	農林課		予算書頁	P126
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
21,612千円		15,412千円		6,200千円		40.2%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
13,700千円		6,300千円		750千円		862千円	

【事業の目的】

土地、水利等に関する諸条件の整備及び農村集落内環境の整備を実施し農業生産の向上と農用地の高度利用を推進するとともに、地域の実態に即した小規模な工事を実施し、生活環境の改善を図る。

流域治水の機能強化を目的として、水田に雨水を一時的に貯留できる機能を組み入れることで排水路や河川等への排水制限を行い、大雨災害時の下流域の浸水被害リスクを低減させる。（一級河川大蓮寺川、一級河川畝見川）

【事業の概要】

- 給料 412千円
- 整備工事費 21,200千円

[財源内訳]

- 農道・水路整備事業負担金 750千円
- 県単土地改良事業補助金 7,500千円
- 田んぼダム利活用促進事業補助金 6,200千円
- 公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業) 6,300千円

[主な内容]

①県単土地改良事業

区長要望等で要望のあった事項に対して改修工事を実施する。
 R7年度予算 工事箇所：7地区（農業用水路の改修等）

実績		(地区)				
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
地区	5	2	3	6	7	

②田んぼダム利活用促進事業 【新規】 [6,200千円(県6,200千円)]

大雨災害時に一級河川大蓮寺川下流域及び一級河川畝見川下流域の浸水被害のリスクを低減させるため、流域治水の機能強化として水田の雨水貯留機能を高める田んぼダムを実施する。

R7年度予算 工事箇所：2地区（東野、片瀬）

実績		(地区)				
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
地区	0	0	1	0	2	

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	06 土地改良費
事業名	県営事業負担金			担当課	農林課		予算書頁 P126
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
26,700千円	37,860千円		△ 11,160千円		△ 29.5%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		18,500千円		0千円		8,200千円	
<p>【事業の目的】 県が施工する中山間地域総合整備事業及び農村地域防災減災事業に要する経費を負担し、農業生産基盤の整備及び農村地域の防災力の向上を図る。</p> <p>【事業の概要】 ○負担金 26,700千円</p> <p>[財源内訳] ○公共事業等債(農業農村) 18,500千円</p> <p>[主な内容] ①県営土地改良総合整備事業負担金 農村地域全体における災害対策上、改修等が必要と判断される区域を対象に農業用施設の整備を行い、農業生産の維持及び災害に強い農村づくりを推進する。 令和4年度より勝山東南部地区、令和5年度より妙金島地区、令和7年度より伊波第2地区が着工し、農村地域の災害防止や継続的な営農の促進を図るために、農地及び農業用施設の整備を行う。</p>							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年																						
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	06 土地改良費																					
事業名	市単土地改良事業補助金			担当課	農林課		予算書頁 P126																					
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)																							
5,000千円	5,000千円		0千円		0.0%																							
予算額の財源内訳																												
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)																						
0千円		0千円		1千円		4,999千円																						
<p>【事業の目的】 地元地区が実施する、農道・用排水路・圃場等の農業用施設の改修工事に対し、勝山市単独土地改良事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。</p> <p>【事業の概要】 ○補助金 5,000千円</p> <p>[財源内訳] ○ふるさと水と土保全基金利子 1千円</p> <p>[主な内容] ①市単土地改良事業補助金 勝山市単独土地改良事業補助金交付要綱に基づき、土地改良事業に対し補助金を交付する。 R7年度予算 工事箇所：6地区(農業用水路の改修等)</p>																												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="5">(件)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6(見込)</th> <th>R7(予算)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								実績		(件)					年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)		交付件数	7	7	5	8	6	
実績		(件)																										
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)																							
交付件数	7	7	5	8	6																							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	01 農業費		目	06 土地改良費
事業名	土地改良事業諸経費			担当課	農林課		予算書頁 P126
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
990千円		19,383千円		△ 18,393千円		△ 94.9%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		990千円	

【事業の目的】

土地改良事業など農業農村整備事業を促進するための必要な諸経費を支出し、農業生産基盤の整備及び農村の保全と管理を実施する。

【事業の概要】

- 消耗品費 33千円
- 手数料 24千円
- 負担金 267千円
- 補助金 657千円
- 公課費 9千円

[財源内訳]

○-

[主な内容]

- ①土地改良事業諸経費
各土地改良関連団体に農業農村整備事業を促進するために負担金を支出する。
また、勝山市土地改良区の事業費に対して補助を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費		目	02 林業振興費
事業名	鳥獣害対策事業費			担当課	農林課		予算書頁 P127
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
15,751千円		7,153千円		8,598千円		120.2%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
6,569千円		0千円		0千円		9,182千円	

【事業の目的】

有害鳥獣による農作物被害を軽減し、人身被害を未然に防止するための対策を実施する。

【事業の概要】

- 報酬 689千円
- 消耗品費 92千円
- 修繕料 144千円
- 委託料 9,740千円
- 公課費 7千円
- 報償費 308千円
- 燃料費 5千円
- 手数料 122千円
- 補助金 4,644千円

[財源内訳]

- ツキノワグマ誘引樹木伐採事業補助金 120千円
- 鳥獣害のない里づくり推進事業補助金 3,989千円
- 指定管理鳥獣対策事業交付金 2,460千円

[主な内容]

- ①有害鳥獣駆除事業 【拡充】 [6,336千円(県1,708千円)]
有害鳥獣捕獲隊を編成し、農林水産物に被害を与えている野生動物の捕獲を実施する。猟友会に捕獲・止め刺し・運搬の事業及び人材育成を委託する。
ツキノワグマと対峙できる人材育成のための銃研修会を年3回から年5回に拡充する。

有害鳥獣の捕獲実績

(頭、匹)

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
ニホンジカ	37	27	19	25	40
イノシシ	69	61	117	186	154
ツキノワグマ	17	6	17	23	34
サル	4	5	10	40	37
ハクビシン	42	55	79	60	-

- ②ツキノワグマ春季捕獲事業 【新規】 [1,215千円(県810千円)]
銃を用いた春季捕獲を行い、クマに対峙できる人材の育成、生活圏への出没を抑制するため捕獲を委託する。
- ③ツキノワグマ個体数調整捕獲事業 【新規】 [2,476千円(県1,650千円)]
集落周辺に生息するクマを排除するため捕獲を委託する。

【次頁へ】

0	会計	一般会計		予算区分	現年
	款 06 農林水産業費	項 02 林業費		目 02 林業振興費	
事業名	鳥獣害対策事業費		担当課	農林課	予算書頁 P127
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)	増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)
15,751千円		7,153千円	8,598千円		120.2%
予算額の財源内訳					
国・県(E)		市債(F)	その他(G)	一般財源(A-E-F-G)	
6,569千円		0千円	0千円	9,182千円	

【前頁より】
 ④鳥獣被害防止総合対策事業
 有害獣の農地への侵入を防止するために、ワイヤーメッシュ柵の整備に対して助成する。

ワイヤーメッシュ柵設置延長 (m)

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
ワイヤーメッシュ柵	2,510	9,670	9,760	4,295	6,190

⑤鳥獣害のない里づくり推進事業(電気柵)
 有害獣の農地への侵入を防止するために、電気柵の整備に対して助成する。

電気柵設置延長 (m)

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
電気柵	12,210	3,010	7,350	8,603	6,155

⑥獣害支障樹木伐採等事業
 クマの出没を防止するため、令和元年度から事業を開始し、令和2年度においては、多くの市町で出没件数が増える中、勝山市は減少し、事業実施以降、市街地等への出没件数は低水準を維持している。柿の木等のクマを誘引する恐れのある果樹の伐採を推進するため、区・個人に対し助成を行う。

獣害支障樹木伐採 (件)

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
地区	6	2	1	5	4
個人	32	15	26	31	15

予算	会計	一般会計		予算区分	現年
	款 06 農林水産業費	項 02 林業費		目 02 林業振興費	
事業名	森林経営管理事業費		担当課	農林課	予算書頁 P128
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)	増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)
3,000千円		3,050千円	△ 50千円		△ 1.6%
予算額の財源内訳					
国・県(E)		市債(F)	その他(G)	一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円	0千円	3,000千円	

【事業の目的】
 森林の多面的機能の発揮に向け、適時適切に伐採、造林、保育等の施策を実施し、林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の促進を図るため、経営や管理が適切に行われていない森林について、市が仲介役となり森林所有者と意欲と能力のある林業経営者をつなぐシステムを構築する。

【事業の概要】
 ○委託料 3,000千円

[財源内訳]
 ○-

[主な内容]
 ①森林経営管理制度に基づく意向調査等業務委託
 森林環境譲与税を活用し、森林所有者の今後の森林管理の意向調査を実施する。

意向調査人数 (人)

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
調査人数(延べ)	202	243	547	273	270

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費		目	02 林業振興費
事業名	森林整備地域活動支援事業費		担当課	農林課		予算書頁	P128
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
3,675千円		3,675千円		0千円		0.0%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
2,756千円		0千円		0千円		919千円	

【事業の目的】

森林経営計画を策定した民間団体が森林施業の集約化に繋げて行くための森林境界の明確化、作業路網の改良に対して支援を行う。

【事業の概要】

○補助金 3,675千円

[財源内訳]

○森林整備地域活動支援事業補助金 2,756千円

[主な内容]

①森林整備地域活動支援事業補助金
森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業が行われるよう、施業区域明確化のための測量や経営計画作成、条件整備等に補助金を交付する。
補助率：国1/2、県1/4、市1/4

R07：GPS測量 55ha、経営計画作成・条件整備 30ha

森林境界の明確化

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
GPS測量	30ha	50ha	50ha	55ha	55ha
経営計画作成 条件整備	80ha	25ha	20ha	30ha	30ha

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費		目	02 林業振興費
事業名	林業振興諸経費		担当課	農林課		予算書頁	P128
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
31,621千円		27,069千円		4,552千円		16.8%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
82千円		0千円		140千円		31,399千円	

【事業の目的】

各種団体への負担金、補助事業の実施により、森林の保全及び緑化に対する意識の高揚、健全で活力のある森林の育成を図る。

【事業の概要】

○委託料 197千円 ○負担金 1,626千円
○補助金 8,834千円 ○交付金 10,000千円 ○繰出金 10,964千円

[財源内訳]

○松くい虫防除事業補助金 82千円
○緑の少年団補助金 140千円

[主な内容]

- ①松くい虫防除事業委託料
旧法恩寺有料道路沿いの松に対し、令和元年に注入した薬剤の効果の持続期間が6年とされているため、再注入を行う。
- ②森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業負担金
地域住民や地域外関係者等による活動組織が実施する森林の保全管理、森林資源の活用を図る取組等を支援するため、福井県内の事業を取り纏めている福井県山村協会に負担金を支出する。
- ③高性能林業機械レンタル支援事業負担金
ふくい県産材生産拡大協議会が実施する高性能林業機械レンタル支援制度に対し、県内17市町において森林整備面積の割合により負担する。協議会は福井県内で実施する利用間伐等に使用する高性能林業機械等のレンタルに対し助成する。県内ではどの施業地で作業しても補助を受けることが可能となり、年間を通じ安定した施業を可能とする。市内の対象者は、県の「意欲と能力のある林業経営体」及び「意欲と能力のある林業経営体へと育成を図る林業経営体」に認定されている(株)ツリーエーほか5事業体となる。(九頭竜森林組合(大野市)も対象事業者)
事業費の負担割合：県1/4、市町1/4※森林整備面積按分(勝山市9.41%)、事業者1/2
- ④生産森林組合補助金
生産森林組合が行う造林管理・保育管理・作業等の維持管理業務等に対し補助金を交付する。 R07：4組合

【次項へ】

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費		目	02 林業振興費
事業名	林業振興諸経費		担当課	農林課		予算書頁	P128
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
31,621千円	27,069千円		4,552千円		16.8%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
82千円		0千円		140千円		31,399千円	
【前項より】							
⑤緑の少年団活動推進事業補助金 少年少女の緑に対する理解を深めるとともに、その活動に対し補助金を交付することで市内の緑の少年団活動の推進を図る。 R07: 4団体							
⑥木質バイオマス有効活用事業補助金 【新規】 [1,500千円] 勝山市内で生じた間伐材を木質バイオマス発電所へ搬出した者に対し補助金を交付する。補助額 250円/m3 令和3年度から5年度までの3年間補助して終了した事業であるが、労務単価が令和3年度比で4000円/日上昇したことにより、間伐材の搬出経費が330円/m3上昇していることから、再度補助事業を3年間行う。							
⑦森林組合作業員退職共済事業補助金 林業退職金共済制度の掛け金の一部に対し助成を行う。 R07: 22名予定							
⑧林業機械レンタル等事業補助金 県・市町で取り組む②高性能林業機械レンタル支援事業の対象外となるふくい自伐型林業に属する個人及び団体や福井県指導・青年林業士が所属する林業事業体に対して、林業機械レンタル費用の2/3以内、限度額は1機種250千円、同一年度で500千円の補助を行い、林業就労環境の改善を図る。 補助対象者は、ふくい自伐型林業協会に属する市内の個人・団体、福井県指導・青年林業士が所属する市内の林業事業体とする。ただし、③高性能林業機械レンタル支援事業の補助対象者は本事業の対象外とする。							
⑨間伐材安定供給促進事業補助金 【新規】 [2,233千円] 間伐材の加工・流通コストの低減や労力の軽減を図るとともに、間伐材の安定供給を図るため、九頭竜森林組合が購入する林業機械（架線式グラブプル・油圧集材機）に対して4%の補助を行う。							
⑩自伐型林業者育成支援事業補助金 担い手の減少等により森林の荒廃が懸念される市内の森林において、間伐や択伐を行い木材の搬出等をするための作業道を整備し、適正に森林の保安全管理を行うことで、森林が持つ多面的機能の維持増進を図るため、持続可能な森林経営を目指す自伐型林業者の育成を及び確保を図るため補助を行う。最長3年間。 月額125,000円×12ヵ月=1,500,000円/人 補助対象者は、次の条件を全て満たしているものとする。 ・林業に就業時の年齢が55歳未満であること ・県内の自伐型林業大学校での研修を全て終了していること ・ふくい自伐型林業協会に属する団体に所属していること							
【次項へ】							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費		目	02 林業振興費
事業名	林業振興諸経費		担当課	農林課		予算書頁	P128
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
31,621千円	27,069千円		4,552千円		16.8%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
82千円		0千円		140千円		31,399千円	
【前項より】							
⑪豊かな森づくり推進事業交付金 健全な森を次の世代に引き継いでいくため、林道の管理主体となる林道愛護組合及び地区などに交付金を交付し、林道の減災対策、維持管理等を支援する。							
⑫市有林造成事業特別会計繰出金 市有林の維持管理に要する経費を一般会計から市有林造成事業特別会計へ繰り出す。							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費		目	04 林道費
事業名	林道（県単）事業費		担当課	農林課		予算書頁	P129
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
36,166千円		26,201千円		9,965千円		38.0%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
17,600千円		17,400千円		820千円		346千円	
<p>【事業の目的】 国庫補助事業の要件を満たさない林道整備事業に対し、県単独補助事業にて舗装、改良工事を実施する。</p>							
<p>【事業の概要】 ○給料 966千円 ○改良工事費 27,700千円 ○舗装工事費 7,500千円</p>							
<p>[財源内訳] ○県単林道舗装事業地元負担金 820千円 ○県単林道整備事業補助金 17,600千円 ○緊急自然災害防止対策事業債（林道） 17,400千円</p>							
<p>[主な内容] ①県単林道整備事業補助金 区長要望にて要望のあった林道の改良・舗装工事などを実施する。 補助率：県5/10、市4/10、地元負担1/10 【R7年度実施予定工事】 改良工事：2路線 舗装工事：4路線</p>							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費		目	04 林道費
事業名	林道（単独）事業費		担当課	農林課		予算書頁	P129
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
914千円		533千円		381千円		71.5%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		914千円	
<p>【事業の目的】 国・県の補助対象とならない林道整備事業に対して、市単独事業において実施する。</p>							
<p>【事業の概要】 ○消耗品費 23千円 ○修繕料 207千円 ○手数料 24千円 ○委託料 398千円 ○使用料及び賃借料 242千円 ○重量税 20千円</p>							
<p>[財源内訳] ○-</p>							
<p>[主な内容] ①事務諸経費 事務遂行上、必要な経費を計上する。</p>							

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	05 林業施設費		
事業名	東山いこいの森管理費			担当課	農林課		予算書頁	P130
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
1,184千円		1,226千円		△ 42千円		△ 3.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		924千円		260千円		

【事業の目的】

休止期間中の施設について、事故や破損等が無いように最低限の管理をする。

【事業の概要】

- 光熱水費 743千円
- 手数料 19千円
- 委託料 364千円
- 使用料及び賃借料 8千円
- 補修用資材代 50千円

【財源内訳】

- 行政財産目的外使用料 10千円
- 光熱水費等負担金 914千円

【主な内容】

①東山いこいの森魅力向上事業補助金【新規】〔債務負担行為1,800万円（令和9年度まで）〕

休止状態となっている東山いこいの森を民間事業者の経営能力を活かし魅力ある施設に再生させるため、意欲ある民間事業者のスタートアップを支援をする。

②維持管理費

昭和55年6月より供用開始した当該施設は令和4年4月より休止しており、次の民間事業者が決定するまでの間は、最低限の維持管理上必要となる経費を支出する。（決定した場合は、維持管理に要する経費を減額補正する予定）

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	05 林業施設費		
事業名	森林公園維持管理費			担当課	農林課		予算書頁	P130
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
351千円		2,093千円		△ 1,742千円		△ 83.2%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		351千円		

【事業の目的】

近年の自然志向、ふるさと志向に対応し、森林を保全しつつ森林の特性を生かした自然とのふれあいの場所を提供するため、森林公園の施設管理を行う。

【事業の概要】

- 消耗品費 3千円
- 光熱水費 31千円
- 手数料 2千円
- 委託料 315千円

【財源内訳】

○-

【主な内容】

①維持管理委託料

森林公園の維持管理に係る清掃（トイレ・炊事場及び駐車場）、倒木の復旧、芝生広場の刈込及び散策路等の刈払いの委託を実施し、適切な管理を実施する。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費		目	06 林道維持費
事業名	林道維持管理費		担当課	農林課		予算書頁	P130
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
5,278千円		1,538千円		3,740千円		243.2%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		5,278千円	
【事業の目的】							
広域基幹林道、利用度の高い林道に対して、補修及び修繕等を重点に維持管理事業を実施する。							
【事業の概要】							
○報償費 188千円							
○保険料 42千円							
○委託料 5,048千円							
【財源内訳】							
○-							
【主な内容】							
①協力者等謝礼 谷フットパス等の遊歩道及び林道の草刈り、補修等の管理に対し謝礼を支払う。							
②側溝清掃等委託 安全で安心な林道維持のため、法恩寺線、小原線、杉山恐竜道線の草刈り等を実施する。 また、R04、05の大雨により法恩寺線及び岩屋線の側溝が土砂で埋没しているため、除去を行う。							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	06 農林水産業費	項	02 林業費		目	07 治山費
事業名	小規模荒廃地治山事業費		担当課	農林課		予算書頁	P131
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
8,220千円		8,220千円		0千円		0.0%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
4,000千円		4,200千円		0千円		20千円	
【事業の目的】							
治山事業のうち国の採択基準又は査定基準に該当しない小規模荒廃地の復旧及び荒廃移行地の予防に要する治山工事を実施し、地域住民が安全で安心できる暮らしを実現する。							
【事業の概要】							
○給料 220千円							
○小規模復旧工事費 8,000千円							
【財源内訳】							
○小規模荒廃地治山事業補助金 4,000千円							
○緊急自然災害防止対策事業債(林道) 4,200千円							
【主な内容】							
①小規模荒廃地治山事業 170字奥山地区(法恩寺線林道及びびくらがり谷水源地管理用道路沿い)において小規模な荒廃地の復旧工事を実施する。							

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	06 農林水産業費	項	03 水産業費	目	01 水産業振興費		
事業名	水産振興事業費			担当課	農林課		予算書頁	P131
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
5,682千円		6,413千円		△731千円		△11.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,569千円		0千円		0千円		4,113千円		

【事業の目的】

勝山市漁業組合、漁業者等が行う多面的機能の効果的・効率的な発揮に資する取組みを支援する。

【事業の概要】

- 委託料 2,688千円
- 負担金 225千円
- 補助金 2,769千円

【財源内訳】

- 集落活性化支援事業補助金 1,569千円

【主な内容】

- ①九頭竜川勝山あゆ魅力発信事業
九頭竜川勝山あゆの魅力と地域ブランドであることを市民に周知し知名度を高めるため、市内の全小中学生に九頭竜川勝山あゆを給食に提供する。
- ②勝山やまのサーモン魅力発信事業
令和5年度に新規特産品として創出した「勝山やまのサーモン」を市民に周知し、知名度を高めることを目的に、市内の全小中学生に「勝山やまのサーモン」を給食に提供する。
- ③県水産多面的機能発揮対策地域協議会負担金
環境保全に大きな影響を及ぼす内水面の生態系の維持・保全・改善を図るため、清掃活動、モニタリング、小学生等を対象にした出前講座を開催する等の活動費の補助に対する負担金を支出する。

実績		(円)				
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
負担金	220,050	177,532	134,826	184,500	225,000	

【次頁へ】

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	06 農林水産業費	項	03 水産業費	目	01 水産業振興費		
事業名	水産振興事業費			担当課	農林課		予算書頁	P131
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
5,682千円		6,413千円		△731千円		△11.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,569千円		0千円		0千円		4,113千円		

【前頁より】

④稚鮎放流事業補助金

勝山市漁業組合が実施する稚鮎放流事業に対する補助金を交付する。
(補助額) 放流量の15/100(下限600kg) × アユ1kgあたりの放流単価

実績

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
稚鮎放流量(kg)	3,300	3,630	3,300	3,800	3,800
補助金額(千円)	2,069	1,952	2,480	2,237	2,310

⑤九頭竜川勝山あゆ釣り体験事業補助金

体験を通して鮎釣りの楽しさを知ってもらうことで、遊漁者の増加及び「九頭竜川勝山あゆ」のPRを図る。

実績

実績		(人)				
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
参加者数				59	100	

⑥水産業緊急資金利子補給金

R4年8月発生の豪雨による被災養殖業者等の早期経営再建を図るため、融資機関から借り入れる資金に係る利子に対し助成を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	01 商工総務費		
事業名	産業振興支援費		担当課	商工文化課		予算書頁	P132	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
1,588千円		1,597千円		△ 9千円		△ 0.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		1,588千円		

【事業の目的】

企業誘致及び企業立地の促進並びに市内企業の産業振興を支援し、新企業の誘致、新産業の誘導を促進する。

【事業の概要】

- 報償費 20千円
- 旅費 150千円
- 通信運搬費 8千円
- 委託料 1,400千円
- 使用料及び賃借料 10千円

[財源内訳]

○-

[主な内容]

①地域経済振興会議
 経済情勢や社会情勢に精通する有識者を委員として迎え、市内経済の活性化や産業振興、企業誘致等についての意見やアドバイスを受け、市の政策に活かしていく。
 あわせて、委員に企業紹介の仲介を依頼し、実際に本市への進出に興味を持つ事業者との面談へとつなげる。

【令和6年度の主な議題】

- ・ 恐竜渓谷かつやまエリア分譲地への企業誘致について
- ・ 温泉センター水芭蕉の対応について
- ・ ふるさと納税の推進について
- ・ 商工振興に係る各種補助制度の見直しについて

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費		
事業名	企業振興助成金		担当課	商工文化課		予算書頁	P132	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
4,870千円		120,576千円		△ 115,706千円		△ 96.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		4,870千円		

【事業の目的】

市内企業の規模拡大、事業継続及び企業誘致を推進するため必要な奨励措置を講じ産業の振興を図る。

【事業の概要】

- 補助金 4,870千円

[財源内訳]

○-

[主な内容]

①企業振興助成金
 企業が事業拡大のため、新たに工場等の新設や増設、空き工場の取得等をした場合に、土地家屋の取得費の20%、償却資産取得費等の10%、市民の新規雇用や既存工場等の社員が市内に移住した場合に1名につき50万円の助成金を交付する。

企業振興助成金指定実績						(千円)
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
指定件数	1	3	2	4	2	

予算	会計		一般会計		予算区分		現年		
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費			
事業名	商工振興事業費		担当課	商工文化課		予算書頁	P132		
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
8,868千円		13,763千円		△ 4,895千円		△ 35.6%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		8,868千円			
【事業の目的】									
市内商工業者等への支援を行いつつ、まちなかの賑わいを創出することにより観光の産業化を推進する。									
【事業の概要】									
○報償費		1,473千円		○旅費		116千円		○委託料	907千円
○使用料及び賃借料		521千円		○負担金		226千円		○補助金	5,625千円
【財源内訳】									
○-									
【主な内容】									
①勝山フェア開催事業 【新規】[1,023千円] 県アンテナショップ「ふくい食の國291」(銀座)において、9日間勝山市フェアを開催し、勝山市のPR及び市特産品の新たな販路開拓を行う。									
②繊維のまち勝山推進事業 勝山の基幹産業である「繊維産業」の振興のため、オープンファクトリーによる産地活性化支援事業、繊維産地教育普及事業を行う。									
③商業施設出店促進事業補助金 商業施設の開設に係る改修費及び開設後3年分の土地、建物の賃借料の一部を補助。補助対象者が女性、または申請時に39歳未満の者については交付限度額を2割増とする。									
		R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)			
年度 件数		5	0	3	3	1			
④新型コロナウイルス感染症対策資金償還支援補助金 新型コロナウイルス感染症関連融資を受けた事業者の負担軽減のため、返済額の一部を補助する。									
⑤一般事業主行動計画策定支援事業 雇用環境の整備や女性の職業生活において能力の発達や活躍を図るための一般事業主行動計画策定のための社労士派遣に係る経費等の一部を助成する。									
		R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)			
年度 件数				1	0	1			
⑥事業サポートアドバイザー派遣事業 【新規】[0円] 市内事業所を市職員と県よろず支援拠点のコーディネーターが巡回し、事業効率化・課題解決など伴走型に必要な支援を行う。									

8	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費		
事業名	商工会議所補助金		担当課	商工文化課		予算書頁	P133	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
9,680千円		8,680千円		1,000千円		11.5%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		9,680千円		
【事業の目的】								
商工会議所が行う、企業支援、産業と観光のまちづくりの推進等に係る各種事業を支援し、商工業の振興及び地域経済の発展を図る。								
【事業の概要】								
○補助金		9,680千円						
【財源内訳】								
○-								
【主な内容】								
①勝山産業フェア開催事業補助金 市内企業の技術力を紹介することで市民への理解を深め、販路開拓と消費拡大による市内産業の発展を促す取組に対して補助する。農産物のPRや販売会等のブースを設け、来場者の増員を図る。								
②商工業振興対策事業補助金 【拡充】[5,000千円] 企業経営支援、産業と観光のまちづくりの推進等に係る取組に対して補助する。事業者に対する商材開発等支援および戦後80年の節日にあたり開催される花火大会に対して補助する。								
③中小企業相談所補助金 中小企業への相談業務、金融支援、各種セミナーの開催等に対して補助する。								
④まちなか創業活性化支援事業補助金 空き店舗等の貸付物件等の情報提供および「創業塾」等の創業者支援に係る取組に対して補助する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費		
事業名	商工貸付金・預託金		担当課	商工文化課		予算書頁	P133	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
275,000千円		300,000千円		△ 25,000千円		△ 8.3%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		275,000千円		0千円		

【事業の目的】

金融機関と協調し、低利の融資制度を設け、市が原資の一部を預託することで商工業の振興と健全発展及び市民の生活の安定と福祉の向上を図る。

【事業の概要】

○貸付金 275,000千円

[財源内訳]

○公害防止施設等整備資金預託金戻入 5,000千円
 ○市民生活安定資金預託金戻入 30,000千円
 ○中小企業振興対策資金預託金戻入 240,000千円

[主な内容]

①中小企業振興対策資金等
 中小企業者、小規模事業者、新規開業事業者に事業資金を融資することにより、自主的な経営の合理化及び近代化を促進し、その経済的地位の向上を図るため、市内金融機関（福銀、越信、福邦、北銀）に年度当初に一定額を無利子で預託し、市内の中小企業に対し低利率の融資を行う。

②市民生活安定資金

市民の生活の安定と福祉の向上を図るため、越前信用金庫に年度当初に一定額を無利子で預託することにより、市民に対し低利率の融資を行う。

融資状況

		（千円）				
		R3	R4	R5	R6（見込）	R7（予算）
中小企業振興対策資金等	件数	14	14	10	15	—
	金額	93,650	60,400	42,750	90,400	—
市民生活安定資金	件数	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	—

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	自然公園等管理費		担当課	商工文化課		予算書頁	P133	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
766千円		658千円		108千円		16.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
300千円		0千円		0千円		466千円		

【事業の目的】

白山国立公園及びその周辺を適切に管理することにより、貴重な観光資源の保護・保全・適正利用を図る。

【事業の概要】

○報償費 687千円
 ○手数料 21千円
 ○使用料及び賃借料 8千円
 ○補修用資材代 50千円

[財源内訳]

○登山道整備委託金 300千円

[主な内容]

- ①登山道及び避難小屋の整備
 登山道等について、各団体に草刈等を委託し、維持管理を行う。
- ②鷲ヶ岳登山道整備
 鷲ヶ岳登山道の整備にかかる原材料を購入し、地元地区による整備を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費		目	03 観光費
事業名	【新規】恐竜のまち推進事業費		担当課	商工文化課		予算書頁	P134
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
5,220千円		4,709千円		511千円		10.9%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		5,220千円	

【事業の目的】

これまでのジオパーク活動で培ってきた市民力、地域力をより将来に向けて展開させるため、地域を知り学び、地域資源を活用することにより、持続可能な地域の発展を目指す。あわせて、勝山の自然や歴史文化、自然環境などを確実に保全するための活動の推進を図る。

この強みを活かし、全国の恐竜好きが集まる「恐竜を学べるまち」となることで、「本物の恐竜のまち」へとステップアップを狙う。

【事業の概要】

○報償費	189千円	○旅費	681千円
○消耗品費	178千円	○燃料費	4千円
○通信運搬費	25千円	○委託料	2,188千円
○使用料及び賃借料	421千円	○負担金	35千円
○補助金	1,499千円		

[財源内訳]

○-

[主な内容]

①ジオパークまちづくり事業

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会に、各部会活動や自然体験事業などを委託して実施する。また、R8年度に恐竜サマーキャンプ(仮称)を実施するために、組織体制の確立や先進事例の視察・にっぽん恐竜協議会加盟自治体の視察及び研修を実施する。

②かつやま恐竜スクール育成事業補助金

市内外の恐竜に興味を持った小学校5年生に恐竜についての知識を深める機会を提供するため、かつやま恐竜スクールの実施に対して支援する。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費		目	03 観光費
事業名	白山ユネスコエコパーク推進事業費		担当課	商工文化課		予算書頁	P134
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
1,113千円		1,216千円		△103千円		△8.5%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		1,113千円	

【事業の目的】

白山ユネスコエコパークのエリア内の関係自治体と関係団体、住民が連携し、白山ユネスコエコパークの保全と活用に資する活動を通して、持続可能な地域づくりを推進する。

【事業の概要】

○使用料及び賃借料	14千円
○負担金	1,099千円

[財源内訳]

○-

[主な内容]

①白山ユネスコエコパーク

白山ユネスコエコパークの保全と活用を推進するとともに、関係自治体が連携し持続可能な発展に資することを目的とする白山ユネスコエコパーク協議会への負担金を支出する。

ユネスコエコパークの登録地は10年ごとにユネスコに定期報告書を提出することとされており、2026(令和8)年度の提出に向け報告書を作成するにあたり、必要な経費を令和6,7年度で特別負担金として支出する。(令和6年度300千円、令和7年度240千円)

・ユネスコエコパーク(10地区)

【S55登録】屋久島・口永良部島(鹿児島)、大台ヶ原・大峯山・大杉谷(三重・奈良)、白山、志賀高原(長野・群馬)

【H24登録】綾(宮崎)

【H26登録】只見(福島)、南アルプス(山梨、長野、静岡)

【H29登録】祖母・傾・大崩(大分県、宮崎県)、みなかみ(群馬・新潟)

【R1登録】甲武信(山梨・埼玉・長野・東京)

白山ユネスコエコパーク構成自治体(4県7市村)

県：富山県、石川県、福井県、岐阜県

市村：南砺市、白山市、大野市、勝山市、高山市、郡上市、白川村

※白山ユネスコエコパークは2026年度にユネスコへ定期報告書提出必要あり

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	白山平泉寺観光振興拠点管理費		担当課	商工文化課		予算書頁	P135	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
7,445千円		7,416千円		29千円		0.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		7,445千円		

【事業の目的】

国史跡白山平泉寺旧境内を史跡白山平泉寺旧境内整備基本計画に沿って活用し、誘客物販によるおもてなし、市民と来訪者との体験交流、情報発信による誘客促進等を通じた地域経済の活性化を図る。

【事業の概要】

○修繕料 250千円
○委託料 6,186千円
○使用料及び賃借料 1,009千円

[財源内訳]

○-

[主な内容]

①白山平泉寺観光振興拠点の指定管理
株式会社六千坊が指定管理者として管理運営を行う。
(令和6年4月1日～令和11年3月31日)

利用人数 (人)

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
人数	9,489	10,813	12,247	13,000	-

バス駐車料金 (千円)

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
金額	333	708	1,321	1,970	-

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	観光関連施設等管理費		担当課	商工文化課		予算書頁	P135	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
10,581千円		7,417千円		3,164千円		42.7%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		172千円		10,409千円		

【事業の目的】

道の駅をはじめとする各観光施設の安全確保や美化清掃等を行うことにより、観光客に快適に利用していただくことで、誘客の促進を図る。

【事業の概要】

○報償費 48千円 ○消耗品費 2,092千円 ○燃料費 33千円
○光熱水費 1,022千円 ○修繕料 1,758千円 ○手数料 30千円
○委託料 4,158千円 ○使用料及び賃借料 910千円 ○負担金 530千円

[財源内訳]

○行政財産目的外使用料 100千円
○自動販売機設置・電気料等 72千円

[主な内容]

- ①桜並木の管理
弁天桜・南大橋桜並木管理のため、害虫駆除委託や管理地区へ謝礼を支払う。
- ②観光トイレの管理
トイレ(弁天上流、尊光寺横、しもちょう、布市、小原、岩屋)の管理のため、清掃や浄化槽等の維持管理委託等及び修繕を行う。布市ロードパークのトイレ正面階段について、老朽化したトイレの修繕を行う。
- ③恐竜モニュメントの管理
市内各所に点在する恐竜モニュメントの管理及び順に再塗装を行う。
- ④ドッグラン施設整備 【新規】[1,842千円]
勝山市道の駅「恐竜渓谷かつやま」隣接地にドッグランを整備することにより、愛犬と一緒に快適に楽しむ環境づくりを推進し、愛犬家の誘客を図る。
- ⑤道の駅「恐竜渓谷かつやま」の指定管理
道の駅の指定管理業務について、現在の指定管理者である勝山市観光まちづくり(株)が民間経営能力を活かし好況な運営を行えていることから、申し出により指定管理料をゼロとする。今後の勝山市観光まちづくり(株)は、全国でも珍しい行政からの支援を受けない先駆的なDMO法人として、持続可能な観光地経営及び観光戦略を推進する。

道の駅入込客数 (人)

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
人数	326,926	449,581	536,160	633,000	-

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	温泉センター管理費		担当課	商工文化課		予算書頁	P136	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
30,428千円		24,650千円		5,778千円		23.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		8,900千円		0千円		21,528千円		
【事業の目的】								
市民の休養と健康増進に資するため、また観光客が温泉を利用することにより、観光振興及び地域経済の活性化を図る。								
【事業の概要】								
○給料 265千円		○修繕料 1,500千円		○委託料 19,000千円		○改修工事費 9,663千円		
[財源内訳]								
○公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業) 8,900千円								
[主な内容]								
①勝山温泉センター「水芭蕉」の指定管理 東急リゾート&ステイ株式会社が指定管理者として管理運営を行う。(平成28年4月1日～令和8年3月31日)								
②給湯一次系統用電動二方弁取替工事 温度上昇の自動制御を行う弁に不具合が出ているため取替を行う。								
③男女大浴場ろ過材及び男丸風呂ろ過機取替工事 交換時期にきている男女大浴場のろ過材の交換及び男丸風呂ろ過機の取替を行う。								
入込客数 (人)								
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)			
人数	98,101	108,893	120,806	125,000	-			

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		
事業名	観光素材魅力アップ事業費		担当課	未来創造課		予算書頁	P136	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
10,898千円		9,508千円		1,390千円		14.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		10,898千円		
【事業の目的】								
地域で育まれてきた文化行事等に市民が一体となって取り組むことによって、観光素材として磨き上げを目指す。								
【事業の概要】								
○報償費 4千円		○消耗品費 1千円		○委託料 3,306千円		○使用料及び賃借料 244千円		
○補助金 7,343千円								
[財源内訳]								
○-								
[主な内容]								
①勝山左義長まつりの実施・運営 実行委員会や管理者である各区と協働しながら、福井県指定無形民俗文化財である「勝山左義長」を実施する。								
②大阪・関西万博出演補助 【新規】 [810千円] 7月に開催される大阪・関西万博のふくいPRステージに出演する勝山左義長ばやし保存会に対し、出演に伴う交通費等の費用を助成する。								
③勝山花物語補助の実施 勝山市に根差した「花」を活用したイベントの実施に補助をする。								

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	07 商工費	項	01 商工費		目	03 観光費
事業名	観光事務諸経費			担当課	商工文化課	予算書頁	P136
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
28,593千円	5,034千円		23,559千円		468.0%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
681千円		0千円		50千円		27,862千円	

【事業の目的】

魅力ある観光情報を発信する等の市外・県外へのPRや、観光素材の魅力アップにつながる取組みを観光事業者や広域観光団体等と連携しながら実施することを通じて観光の振興を図る。

【事業の概要】

○旅費	185千円	○消耗品費	2,132千円
○食糧費	20千円	○通信運搬費	159千円
○広告料	132千円	○手数料	38千円
○委託料	13,758千円	○使用料及び賃借料	20千円
○負担金	10,731千円	○補助金	1,418千円

〔財源内訳〕

○福井を学ぶ体験旅行推進事業補助金	15千円
○稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト補助金	666千円
○観光絵はがき等売上代金	50千円

〔主な内容〕

- ①御開帳記念賑わい創出事業
R7.5.23~25に開催される平泉寺白山神社三十三式年祭(御開帳)及び大師山仏母寺御開帳を記念して、市民参加によるにぎわいを創出するとともに、平泉寺の魅力在市内外に広く発信し、誘客を図る。
- ②第9回「山の日」全国大会開催市負担金 【新規】 [1,900千円]
山の魅力や豊かな恩恵を広く発信し「山の日」への理解を深めるため、R7.8.10~11に福井県において第9回「山の日」全国大会を開催する。勝山市では「歓迎フェスティバル」を開催する。
- ③TGRラリーチャレンジ開催支援負担金
R7.9.28にTOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジを開催し、モータースポーツを通じた地域住民とラリー関係者との交流、法恩寺山周辺のにぎわいづくり及び市内観光を含めた情報発信を図る。
- ④御開帳記念東儀秀樹氏特別公演負担金 【新規】 [1,144千円]
R7.5.23~25に開催される平泉寺白山神社三十三式年祭(御開帳)を記念して、市民会館において、市民向けの東儀秀樹氏特別公演を実施する。
- ⑤稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業補助金 【新規】 [1,333千円(県666千円)]
R7.5.23~25の御開帳期間中に訪れることができない参拝者等に向け、6/1~6/30を期間とした旅行プランを造成し、その魅力に触れていただく機会を提供するとともに、継続的に販売が可能なツアーの造成に取り組む。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	01 土木管理費		目	01 土木総務費
事業名	土木管理諸経費			担当課	建設課	予算書頁	P138
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
6,170千円	14,005千円		△ 7,835千円		△ 55.9%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		0千円		0千円		6,170千円	

【事業の目的】

各種土木関連団体の総会や研修会への参加などを通じて安全・安心な社会基盤づくりの推進を図る。車両の維持・保守点検を行い、適正な車両管理を行う。

【事業の概要】

○旅費	196千円	○消耗品費	1,489千円
○燃料費	834千円	○修繕料	1,013千円
○通信運搬費	206千円	○手数料	74千円
○委託料	1,388千円	○使用料及び賃借料	844千円
○負担金	22千円	○公課費	104千円

〔財源内訳〕

○-

〔主な内容〕

- ①各種同盟会・協議会等参加旅費・負担金
国・県が開催する協議会・同盟会に参加し、道路の整備促進に向けた要望活動を行う。また、国・県が開催する研修会に参加し、安心・安全なインフラの維持管理に努める。
- ②車両維持管理
道路維持管理・パトロール用の車両を適正に保つため、車検及び修繕等を実施する。
- ③土木積算システム
各種工事の設計書作成に使用する土木積算システムの賃借を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	01 道路橋りょう総務費		
事業名	道路橋りょう管理諸経費			担当課	建設課		予算書頁	P139
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
5,268千円		5,282千円		△ 14千円		△ 0.3%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		5,268千円		
【事業の目的】								
道路台帳の整備や各種土木関連団体への加入などを通じて安全・安心な道路の整備を図る。								
【事業の概要】								
○委託料 5,000千円								
○使用料及び賃借料 7千円								
○負担金 261千円								
[財源内訳]								
○-								
[主な内容]								
①道路台帳更新処理業務 令和6年度に改良工事等を行った道路の台帳図・調書の更新を行う。								
②各種同盟会、協会等への負担金 国・県道等の同盟会、協議会等の会費等を負担する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費		
事業名	除雪関係費			担当課	建設課		予算書頁	P140
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
221,880千円		220,785千円		1,095千円		0.5%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
64,000千円		0千円		0千円		157,880千円		
【事業の目的】								
直営作業及び民間業者委託により市道等の除雪作業を行い、冬期間における道路交通の確保を図る。								
【事業の概要】								
○給料 4,500千円 ○共済費 149千円								
○報償費 1,429千円 ○消耗品費 6,626千円								
○燃料費 2,066千円 ○修繕料 3,561千円								
○通信運搬費 192千円 ○手数料 686千円								
○委託料 202,614千円 ○使用料及び賃借料 11千円								
○公課費 46千円								
[財源内訳]								
○社会資本整備総合交付金(道路) 64,000千円								
[主な内容]								
①除雪車運転手の雇用 除雪車運転手として1/1~2/28に会計年度任用職員を6名雇用する。 上記のうち2名は12月及び3月も降雪時のみ雇用契約する。								
②除雪活動助成事業 区、町内会ほか地域コミュニティでの除雪活動(38地区)に助成を行う。								
③消耗品費・車両整備費 除雪車のタイヤチェーン、凍結防止剤等を購入する。また、除雪車16台及び凍結防止剤散布車1台の車検・点検整備を行う。								
④道路関係監視・管理システムの保守点検 消雪設備遠方監視装置情報配信システム、除雪管理システム及び監視カメラ公開システムの保守点検を行う。								
⑤市道除雪委託費 市道除雪延長238.2kmのうち直営部分を除いた延長について民間38業者に委託する。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費		
事業名	克雪管理センター管理費		担当課	建設課		予算書頁	P140	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,048千円		1,108千円		△ 60千円		△ 5.4%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		1,048千円		

【事業の目的】

除雪基地として克雪管理センター（滝波町4丁目）及び中尾スノーステーション（北谷町中尾）の適切な維持管理を図る。

【事業の概要】

○消耗品費	1千円
○燃料費	61千円
○光熱水費	579千円
○修繕料	50千円
○通信運搬費	142千円
○委託料	143千円
○使用料及び賃借料	72千円

[財源内訳]

○-

[主な内容]

①除雪基地の維持管理
 克雪管理センター及び中尾スノーステーションの光熱水費、電話料等の支払い、天井クレーン等の法定点検を行う。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費		
事業名	道路維持補修費		担当課	建設課		予算書頁	P140	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
55,404千円		55,060千円		344千円		0.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		7,600千円		0千円		47,804千円		

【事業の目的】

道路のパトロール、危険個所の補修や消雪装置の点検・修理等を行い、通行車両、歩行者の安全確保を図る。

【事業の概要】

○給料	2,104千円	○職員手当等	562千円
○共済費	458千円	○報償費	240千円
○消耗品費	247千円	○光熱水費	16,313千円
○修繕料	3,150千円	○保険料	351千円
○委託料	18,989千円	○使用料及び賃借料	215千円
○修繕工事費	9,500千円	○補修用資材代	2,500千円
○備品購入費	85千円	○負担金	690千円

[財源内訳]

○公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化） 7,600千円

[主な内容]

- ①消雪装置の点検及び修繕
 降雪前に消雪装置の点検及び必要な修繕を行う。
- ②道路修繕、交通安全施設修繕
 地元からの連絡・要望、道路点検により確認される破損個所の修繕を行う。
- ③街路灯修繕
 老朽化した道路照明灯の球替え（長寿命化）や故障したLED防犯灯の取替を行う。
- ④街路樹剪定
 計画に基づき、6路線の街路樹を剪定する。
- ⑤道路修繕工事
 地元からの要望や道路点検による道路の段差解消や路肩の修繕などを行う。
- ⑥機械器具購入費
 作業を効果的効率的に行うため、バッテリー式のグラインダー及び急速充電器を購入する。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費		
事業名	国県道改良事業負担金		担当課	建設課		予算書頁	P141	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
25,350千円	13,200千円		12,150千円		92.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		18,000千円		0千円		7,350千円		
<p>【事業の目的】 県管理道路の改良事業を進捗させ、安全・安心な道路の整備を図る。(県が施工する国、県道改良・河川局部改良、消雪工事に対する負担金)</p>								
<p>【事業の概要】 ○負担金 25,350千円</p>								
<p>[財源内訳] ○緊急自然災害防止対策事業債(河川) 18,000千円</p>								
<p>[主な内容] ①道路改良工事 野向町横倉地区ほかの道路改良工事を実施する。</p>								
<p>②河川局部改良工事 畝見川、宮前川、暮見川、滝波川の改良工事を実施する。</p>								
<p>③消雪工事 市内消雪施設の修繕工事等を実施する。</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費		
事業名	道路(補助)事業費		担当課	建設課		予算書頁	P142	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
99,640千円	205,532千円		△105,892千円		△51.5%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
54,744千円		32,900千円		0千円		11,996千円		
<p>【事業の目的】 道路を中心とした社会資本の整備、その他取り組みを実施するため、道路メンテナンス事業補助金及び社会資本整備総合交付金を活用し、安全・安心な道路の整備を図る。</p>								
<p>【事業の概要】 ○給料 3,835千円 ○委託料 26,700千円 ○整備工事費 69,105千円</p>								
<p>[財源内訳] ○道路メンテナンス事業補助金 10,820千円 ○社会資本整備総合交付金(道路) 43,924千円 ○公共事業等債(道路) 32,900千円</p>								
<p>[主な内容] ①道路インフラの点検 橋長15m以上の47橋の点検(3巡目)を行う。</p>								
<p>②道路改良事業 市道6-2号線ほか1路線で道路改良工事を行う。</p>								
<p>③消雪施設整備 北郷町伊知地・坂東地区ほか2地区で消雪施設の改修工事を行う。</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費		
事業名	道路（単独）事業費		担当課	建設課		予算書頁	P142	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
65,655千円	101,881千円		△ 36,226千円		△ 35.6%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		45,300千円		0千円		20,355千円		
【事業の目的】								
市単独で道路改良、照明設備設置、舗装、その他消雪設備の設置等を行うことにより、安全・安心な道路の整備を図る。								
【事業の概要】								
○給料	1,347千円							
○改良工事費	12,723千円							
○舗装工事費	49,000千円							
○その他工事費	2,085千円							
○補償、補填及び賠償金	500千円							
[財源内訳]								
○公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化） 45,300千円								
[主な内容]								
①改良工事 市道9-7号線ほか3路線で道路拡幅等の改良工事を行う。								
②舗装工事 市道7-92号線ほか26路線、延長約1.3kmの舗装工事を行う。								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費		
事業名	河川管理諸経費		担当課	建設課		予算書頁	P142	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,452千円	1,578千円		△ 126千円		△ 8.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
506千円		0千円		0千円		946千円		
【事業の目的】								
浄土寺川ダム親水公園の維持管理や各種治水関連団体への加入などを通じて河川環境の整備と保全を図る。								
【事業の概要】								
○光熱水費	51千円							
○役務費	12千円							
○委託料	216千円							
○負担金	160千円							
○補助金	1,013千円							
[財源内訳]								
○地域をつなぐ河川環境づくり推進事業補助金 506千円								
[主な内容]								
①浄土寺川ダム公衆トイレ清掃管理 浄土寺川ダム公衆トイレの清掃管理業務を浄土寺区に委託する。								
②各種同盟会・協議会等負担金 県内外の治水砂防関係協会の負担金を支払う。								
③地域をつなぐ河川環境づくり推進事業補助金 良好な河川環境の整備及び保全のために県管理河川区域において草刈り・清掃活動を行う地域住民団体等（37団体）に対して補助金を交付する。								

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	03 河川費		目	02 河川水路維持費
事業名	河川水路維持補修費		担当課	建設課		予算書頁	P143
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
43,116千円		9,017千円		34,099千円		378.2%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		39,600千円		0千円		3,516千円	
【事業の目的】							
<p>浚渫や補修等により河川や水路を適切な状態を保つとともに維持管理を行い、冬期間の用水確保や家屋の浸水被害の軽減等の生活環境の改善を図る。</p>							
【事業の概要】							
<p>○給料 1,112千円 ○修繕料 4,390千円 ○委託料 1,500千円 ○修繕工事費 36,064千円 ○補修用資材代 50千円</p>							
[財源内訳]							
<p>○緊急浚渫推進事業債 22,600千円 ○公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化) 17,000千円</p>							
[主な内容]							
①水路修繕							
<p>村岡町浄土寺ほか20カ所で地元からの連絡・要望や職員による点検により確認された破損個所の修繕を行う。(修繕料8箇所、修繕工事13箇所)</p>							
②河川浚渫 【新規】 [22,605千円(債22,600千円)]							
<p>普通河川野津又川ほか8河川で令和4年度発生災害等により近年堆積が進んだ土砂の撤去を行う。</p>							

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	03 河川費		目	03 河川水路新設改良費
事業名	河川水路(単独)事業費		担当課	建設課		予算書頁	P143
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
46,237千円		40,997千円		5,240千円		12.8%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
0千円		46,100千円		0千円		137千円	
【事業の目的】							
<p>既存の水路等を改良し、冬期間の用水確保や家屋の浸水被害の軽減等の生活環境の改善を図る。</p>							
【事業の概要】							
<p>○給料 1,237千円 ○委託料 6,000千円 ○改良工事費 38,500千円 ○補償・補填及び賠償金 500千円</p>							
[財源内訳]							
<p>○緊急自然災害防止対策事業債(道路) 17,400千円 ○緊急自然災害防災対策事業債(河川) 28,700千円</p>							
[主な内容]							
①水路改良工事							
<p>市道7-183号線ほか5路線で路側水路の改良工事を行う。また、普通河川坂瀬川ほか7カ所で護岸の新設や改修工事などを行う。</p>							

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費		
事業名	景観整備事業費		担当課	建設課		予算書頁	P144	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
3,016千円	3,038千円		△ 22千円		△ 0.7%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
1,500千円		0千円		0千円		1,516千円		

【事業の目的】

歴史や伝統行事が息づく平泉寺区や本町通り及び市内各地において良好な景観の保全・形成を図る。

【事業の概要】

- 報償費 16千円
- 補助金 3,000千円

【財源内訳】

- 福井の伝統的民家普及促進事業補助金 1,000千円
- 景観まちづくり推進事業補助金 500千円

【主な内容】

①景観整備事業補助金
 伝統的行事や景観が息づくまちなかや、日本遺産に認定されており、国史跡白山平泉寺旧境内が存する平泉寺区などの景観を潤いあるものとし、市民自らの景観への関心を高める誘導策として、建物の外観や塀等工作物の景観に配慮した新築や改築に対する費用の一部を補助する。なお、補助金の交付に関しては、景観審査専門家会議を開催し専門家から意見及び助言を求める。

景観整備事業補助金 交付実績（令和6年10月） (件数)

年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
件数	2	4	1	2	2
H18からの累計	148	152	153	155	157

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費		
事業名	都市計画総務諸経費		担当課	建設課		予算書頁	P144	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
36,435千円	357千円		36,078千円		10,105.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		10千円		36,425千円		

【事業の目的】

都市計画審議会の開催や各都市計画関連団体への加入等を通じて、都市の健全な発展と秩序ある整備を図る。

【事業の概要】

- 報酬 114千円
- 旅費 17千円
- 消耗品費 30千円
- 食糧費 4千円
- 委託料 36,000千円
- 負担金 270千円

【財源内訳】

- 地図代 10千円

【主な内容】

①都市計画審議会
 都市計画法によりその権限に属された事項及び市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を審議する。令和7年度は都市構造再編集中支援事業での実施事業及び緑の基本計画に関する審議等を実施予定。

②景観審議会

勝山市景観条例に基づき勝山市の景観形成に必要な事項を審議する。

③緑の基本計画 【新規】 [36,000千円]

長尾山総合公園の2期エリア整備に向け、公園内の自然環境調査を実施し、生物多様性の確保に資する公園となるよう、「緑の基本計画」（都市緑地法第4条に基づき、緑地の保全及び推進に関して定める計画）を改定する。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年
	款	08 土木費	項	04 都市計画費		
事業名	下水道事業費		担当課	上下水道課		予算書頁 P145
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
475,492千円	561,625千円		△ 86,133千円		△ 15.3%	
予算額の財源内訳						
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)
		22,800千円		0千円		452,692千円
【事業の目的】						
一般会計から下水道事業会計へ必要となる費用を繰り出し、下水道事業を安定的に運営する。						
【事業の概要】						
○負担金 424,308千円						
○補助金 28,384千円						
○出資金 22,800千円						
[財源内訳]						
○緊急自然災害防止対策事業債(下水道) 22,800千円						
[主な内容]						
①下水道事業債の元利償還金の一部						
②公営企業会計適用債の元利償還金の一部						
③雨水処理に要する経費						
④地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費						
⑤雨水管渠建設改良に要する経費 【新規】 [22,800千円(債22,800千円)]						

予算	会計		一般会計		予算区分	現年
	款	08 土木費	項	04 都市計画費		
事業名	公園管理費		担当課	建設課		予算書頁 P145
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
66,700千円	66,163千円		537千円		0.8%	
予算額の財源内訳						
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)
0千円		800千円		65,900千円		0千円
【事業の目的】						
市民の憩いの場である公園の美化、維持管理を行い、公園施設の安全確保と機能保全を図る。 大型連休など公園周辺道路に渋滞が想定される期間には来園者の利便性を確保するためパーク&ライド等の渋滞対策を実施する。						
【事業の概要】						
○給料 22千円 ○報償費 888千円						
○消耗品費 577千円 ○光熱水費 3,719千円						
○修繕料 1,500千円 ○手数料 35千円						
○委託料 44,061千円 ○使用料及び賃借料 14,471千円						
○修繕工事費 1,045千円 ○補修用資材代 100千円						
○負担金 182千円 ○補助金 100千円						
[財源内訳]						
○公園使用及び占用料 48,284千円						
○企画費寄附金(公募型事業資金) 2,616千円						
○指定管理者納付金 15,000千円						
○緊急防災・減債事業債(便益施設整備事業) 800千円						
[主な内容]						
①都市公園等清掃協力報償費 都市公園等の清掃奉仕活動に協力いただいている25団体に謝礼を支払う。						
②清掃管理委託 都市公園の清掃(6公園)、草刈り(14公園)、中低木剪定(13公園)、トイレ清掃(8公園)をシルバー人材センター、紫水の郷に、雪囲い(29公園)をシルバー人材センターおよび民間事業者に委託する。						
③パークアンドライド 大型連休などの繁忙期の課題である来園者による公園周囲の渋滞対策としてパークアンドライドを実施する。						
パーク&ライド実施日数						
年度	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
日数	0	8	24	24	26	
④公園施設修繕工事 勝山市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の改修を行う。 長山公園 防犯灯整備工事、北部第3公園 トイレ改修工事						
⑤長山公園さくらプロジェクト 令和9年春までの開花を目指すさくらプロジェクトにおいて、植樹を行う。						

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	06 公園事業費		
事業名	長尾山総合公園（単独）事業費		担当課	建設課		予算書頁	P146	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
19,719千円		189,245千円		△ 169,526千円		△ 89.6%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		19,719千円		0千円		
<p>【事業の目的】 県内外から多くの人を訪れる長尾山総合公園において、適切な施設整備を行い、更なる利便性、安全性の向上を図る。</p> <p>【事業の概要】 ○整備工事費 19,669千円 ○補助金 50千円</p> <p>[財源内訳] ○公園使用及び占用料 19,719千円</p> <p>[主な内容] ①園内整備工事 県立大学恐竜学部キャンパス開学に合わせ、玄関口となる避難路の修景・誘導看板の整備を行う。来園者の安全性の向上を目的とし、旧第3駐車場法面整備工事を行う。</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	06 公園事業費		
事業名	公園（補助）事業費		担当課	建設課		予算書頁	P146	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
53,500千円		29,400千円		24,100千円		82.0%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
26,000千円		14,800千円		0千円		12,700千円		
<p>【事業の目的】 長寿命化計画に基づき、老朽化等により損傷した都市公園の施設改修等を行い、更なる利便性、安全性の向上を図る。</p> <p>【事業の概要】 ○給料 1,500千円 ○委託料 22,000千円 ○整備工事費 30,000千円</p> <p>[財源内訳] ○社会資本整備総合交付金（公園） 26,000千円 ○公共事業等債（公園） 14,800千円</p> <p>[主な内容] ①公園施設整備工事 勝山市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の改修を行う。 長尾山総合公園園路舗装、ベンチ 長山公園防球ネット、防護柵</p> <p>③公園施設長寿命化計画策定業務委託 【新規】 [22,000千円(国)11,000千円] 都市公園法運用指針に基づき、専門技術者による公園施設の定期点検（劣化診断、規準診断）を行い、長寿命化計画の更新を行う。</p>								

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	08 都市整備事業費		
事業名	都市整備（補助）事業費		担当課	建設課		予算書頁	P147	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
65,625千円	99,401千円		△ 33,776千円		△ 34.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
31,250千円		30,900千円		0千円		3,475千円		

【事業の目的】

自然遺産、歴史・文化遺産、産業遺産を生かし、広域的な観光と結びつけ、中心市街地の再生を図るとともに、人口減少の中にあっても生活利便性や安心安全を確保すべく居住誘導の推進を図る。

【事業の概要】

- 給料 3,125千円
- 整備工事費 62,500千円

【財源内訳】

- 社会資本整備総合交付金（都市構造再編集集中支援事業） 31,250千円
- 公共事業等債（都市構造再編集集中支援事業） 30,900千円

【主な内容】

- ①元禄線整備
令和5年度から実施している元禄線整備について、本町通り～ファミリーマート勝山元町1丁目店間の歩道舗装の再整備や照明の整備を行い、歩道空間の高質化を図る。

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費		
事業名	市営住宅維持管理費		担当課	営繕課		予算書頁	P147	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
8,460千円	7,529千円		931千円		12.4%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		8,460千円		0千円		

【事業の目的】

市内で住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的として市営住宅9団地（121戸）の維持管理を行う。

【事業の概要】

- 消耗品費 70千円
- 修繕料 4,400千円
- 保険料 102千円
- 使用料及び賃借料 2,559千円
- 補償、補填及び賠償金 80千円
- 光熱水費 17千円
- 手数料 36千円
- 委託料 1,177千円
- 負担金 19千円

【財源内訳】

- 市営住宅退去負担金 320千円
- 市営住宅使用料 7,878千円
- 市営住宅使用料（過年度） 250千円
- 行政財産目的外使用料 12千円

【主な内容】

- ①市営住宅退去に伴う修繕料等
市営住宅の退去に伴い、次の入居者のため、原状回復の修繕（畳や襖の張替え、床・壁・天井の修復、水周り設備の取替等）を実施する。
- ②施設所有者賠償責任保険 【新規】 [102千円（他102千円）]
勝山市が所有する公営住宅において、他人の身体や財物に損害を与えた場合、法律上の賠償責任を負担する。

市営住宅 入退去の推移

(戸)

	R3	R4	R5	R6 (見込)	R7 (予算)
入居	8	7	6	10	10
退去	12	8	5	10	10

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費		
事業名	定住促進住宅維持管理費		担当課	営繕課		予算書頁	P148	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
5,478千円	4,790千円		688千円		14.4%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		5,478千円		0千円		

【事業の目的】

市内に居住し又は居住しようとする者で住宅に困窮している者に対して、定住支援を図ることを目的として定住促進住宅79戸の維持管理を行う。

【事業の概要】

○消耗品費 30千円 ○光熱水費 596千円
 ○修繕料 3,750千円 ○手数料 27千円
 ○委託料 1,075千円

[財源内訳]

○定住促進住宅退去負担金 263千円
 ○定住促進住宅使用料 4,921千円
 ○定住促進住宅使用料(過年度) 294千円

[主な内容]

①定住促進住宅退去に伴う修繕料等
 定住促進住宅の退去に伴い、次の入居者のため、原状回復の修繕(畳や襖の張替え、床・壁・天井の修復、水周り設備の取替等)を実施する。

定住促進住宅 入退去の推移 (戸)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
入居	6	5	6	10	10
退去	8	11	6	10	10

予算	会計		一般会計		予算区分		現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費		
事業名	建築営繕管理諸経費		担当課	営繕課		予算書頁	P148	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
656千円	1,318千円		△662千円		△50.2%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		656千円		0千円		

【事業の目的】

公共施設の建築営繕工事、修繕工事の適切な設計及び市営住宅等の適正管理を図る。

【事業の概要】

○消耗品費 3千円 ○燃料費 147千円
 ○修繕料 50千円 ○使用料及び賃借料 356千円
 ○負担金 100千円

[財源内訳]

○市営住宅使用料 656千円

[主な内容]

①営繕積算システム使用料
 市の建築営繕工事、修繕工事を請負施工に付する場合の工事内訳書に計上すべき工事の算定について、材工等の複合単価の資料として利用する。

②公用車の車両維持管理費

市営住宅等の点検・作業を実施するため、所管する公用車を適切に維持管理する。

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費		目	02 住宅建設費
事業名	定住化促進事業費		担当課	営繕課		予算書頁	P148
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
7,000千円		7,000千円		0千円		0.0%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
2,500千円		0千円		0千円		4,500千円	

【事業の目的】

定住人口の増加、空き家を有効活用するU・Iターン者及び子育て世帯への住環境の整備及び子育てや介護の面で助け合いながら暮らすことのできる多世帯近居・同居の推進並びに地域の活性化を図る。

【事業の概要】

○補助金 7,000千円

[財源内訳]

○社会資本整備総合交付金（都市構造再編集集中支援事業） 2,500千円

[主な内容]

①勝山市定住化促進事業補助金
勝山市の定住人口の増加を図り、地域の活性化に資することを目的に、住宅取得に要する経費の一部を補助する。

定住化促進事業補助金 (千円)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
補助件数	8	6	6	1	8

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費		目	02 住宅建設費
事業名	住宅（補助）事業費		担当課	営繕課		予算書頁	P148
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)	
48,981千円		49,737千円		△ 756千円		△ 1.5%	
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
24,914千円		0千円		0千円		24,067千円	

【事業の目的】

福井県地域住宅等整備計画に基づく事業を実施する。
令和4年8月大雨災害に伴う被災住宅の新築に要した経費の借入に対する利子補給を実施する。

【事業の概要】

○改修工事費 19,899千円 ○取壊工事費 2,800千円

○補助金 26,282千円

[財源内訳]

○社会資本整備総合交付金（地域住宅計画） 22,223千円
○福井の伝統的民家普及促進事業補助金 997千円
○多世帯同居・近居住まい推進事業補助金 852千円
○子育て世帯等への住まい支援事業補助金 495千円
○ブロック塀等安全対策事業補助金 250千円
○被災住宅復興支援利子補給金事業補助金 97千円

[主な内容]

- 市営旭住宅浴槽設置・トイレ洋式化
旭住宅について浴室に浴槽がなく、入居者がバランス式浴槽を設置していたことから、順次、浴槽を設置する。また、トイレについても順次、洋式化を行う。
- 旭住宅2号棟給排水設備更新工事
旭住宅2号棟の給排水設備の老朽化に伴い更新工事を実施する。
- 住み続ける福井支援事業
勝山市の定住人口の増加、U・Iターン者及び子育て世帯への住環境の整備及び多世帯近居・同居の推進を図ることを目的に、住宅取得及びリフォームに要する経費の一部を補助する。令和5年度より、中古住宅を賃貸用によりリフォームした場合の経費の一部を補助する。
- 木造市営住宅の取り壊し
入居者が退去し、老朽化した木造市営住宅の取り壊しを行う。

【次頁へ】

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費		目	02 住宅建設費
事業名	住宅（補助）事業費		担当課	営繕課		予算書頁	P148
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
48,981千円	49,737千円		△ 756千円		△ 1.5%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
34,626千円		0千円		0千円		14,355千円	

【前頁より】

⑤克雪住宅推進事業

屋根雪降ろしの負担を軽減し、雪に強く少子高齢化社会に対応した安全で安心して暮らせる住環境整備の促進のため、住宅の克雪化に要する経費の一部を補助する。また、屋根雪下ろしアンカー設置補助を拡充し、その普及を図ることで、除雪作業における安全・安心の確保を図る。

克雪住宅推進事業

(千円)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
補助件数	10	16	4	1	26

⑥吹付けアスベスト調査事業

勝山市内民間建築物のアスベストの使用実態を把握し、アスベストによる市民の健康被害の未然防止を図るため、アスベストの含有の有無等に係る調査に要する経費の一部を補助する。

吹付けアスベスト調査事業

(千円)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
補助件数	1	2	2	2	2

⑦被災住宅復興支援利子補給金

令和4年8月大雨災害に伴う被災住宅の建設、購入、補修費の借入に対し利子補給する。

国庫定住補助件数の推移

(件)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
補助件数	17	17	17	17	17

ブロック塀解体補助件数の推移

(件)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
補助件数	5	2	4	6	6

予算	会計		一般会計		予算区分	現年	
	款	08 土木費	項	05 住宅費		目	02 住宅建設費
事業名	空き家対策総合支援事業費		担当課	営繕課		予算書頁	P149
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
6,527千円	35,945千円		△ 29,418千円		△ 81.8%		
予算額の財源内訳							
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)	
4,280千円		0千円		687千円		1,560千円	

【事業の目的】

勝山市空き家対策総合実施計画に基づく事業を実施する。

【事業の概要】

○報酬	38千円	○報償費	80千円
○旅費	6千円	○広告料	43千円
○取壊工事費	3,300千円	○補助金	3,060千円

[財源内訳]

○空き家対策総合支援事業補助金(国費)	3,220千円
○空き家対策支援事業補助金(県費)	1,060千円
○環境整備負担金	687千円

[主な内容]

- 勝山市空家等対策協議会の運営
勝山市空家等対策計画の運用に関し、計画の変更及び実施に関する協議、特定空家等の認定及び措置に関する協議を行う。
- 特定空家解体工事
倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態等にあると認められる空き家「特定空家等」に対し、行政代執行等による空き家の除却を行い、周囲に危害が及ばないように空き家の解消を図る。
- 老朽危険空き家解体事業
地域の安全性の向上のため、市内における防災、防犯上危険な老朽空き家の撤去の費用の一部を補助する。

老朽危険空き家解体

(千円)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
補助件数	10	5	3	3	5

④空き家適正管理促進推進事業

市内の空き家が周辺に悪影響を及ぼすことを防ぎ、空き家の適正管理を図るため、空き家の所有者等に対して、管理代行サービスに要した費用の一部を補助する。